

2021 年度 自己点検・自己評価報告書

2022 年 11 月 16 日 自己点検・自己評価委員会 議事録より

(1) 中期計画 (2020～2024 年度) の再確認

中期計画は 2020 年度に開始し、2021 年度まで 2 年間を経過した。

これまでの中期計画 2 年間の実施状況の総括は、以下の通り。

達成した項目として

- ・教育理念、3 つのポリシーの改訂
- ・自己点検自己評価の実施
- ・教員の領域担当の見直しと再配置

ある程度は達成したが不十分、または達成途上にある項目として

- ・90%以上の国家試験合格率
- ・新カリキュラムの準備と実施

未だ達成できず、さらなる努力が必要な項目として

- ・学生の収容定員 240 名の確保と、短大財務の黒字化

一方、2022 年度の計画として当初、掲げていた項目は

- ・全教員が修士号以上の学位を取得し、教員の質向上に努めること
- ・看護と伝統医療の連携研究を推進すること

の 2 点であるが、これらはほぼ達成されたか、達成されつつある。

以上の状況を勘案し、2022 年度の目標を、以下の様に再編して設定した。

- ・経営の観点からの目標
学生の収容定員 240 名の確保と、短大財務の黒字化
- ・経営と教学の観点からの目標
国家試験の合格率 90%以上を達成する。
- ・教学の観点からの目標
新カリキュラムの準備と実施

(2) 2022 年度期中の自己点検

- ・中期計画の目標は、数値データと関連付けて理解し、努力することが重要である。そのために、以下の「基礎となるデータ」を準備した。
- ・その「基礎となるデータ」を見ると、在籍者数～220 名程度で経常収支バランスがゼロとなると推定される。
従って、定員 80 名の入学者を確保することが即ち、黒字化に直結する。
- ・入試については、総合型の受験者数は激減したが、推薦型はそれなりに人数を確保できそうである。
- ・国試対策については、外部から招聘する講師を変更して、実施中である。
- ・1 年生に新カリキュラムが導入された。円滑に授業が行われている。